



認め合い ともに伸びよう

嶋島東中学校 第1学年便り 令和6年12月20日発行



他者を思いやる生き方

2学期が終わります。入学してから9か月経ちますが、子どもたちは本当に素直に、真面目に学校生活を送ってきました。一人一人が心身共に成長し頼もしくなっているのを、随所で感じます。出会えた「奇跡」を感じ、一緒にいられることがとても嬉しいです。

そして、学級の仲間を大事に思いやって、見捨てず関わったり、学級で団結したりする「絆」が生まれてきたことが、とても誇らしいです。



検索 新 嶋島東中HP

心を一つにして挑んだ「合唱コンクール」

12月8日(日)、合唱コンクールが開催されました。課題曲「明日を信じて」のほかに、自由曲は1組「変わらないもの」、2組「空も飛べるはず」を自信をもって歌いました。本気で入賞を目指し、みんなで力の限り歌いきりました。みんなと安心して声を出して歌える楽しさがあふれた、本当に素晴らしい合唱でした。



○私は音楽が大好きなので、合唱コンクールを楽しみにしていた。でも、練習では全体的に声が小さく、自信がないような感じがしてとても不安になった。先生はどうしたらいいかいろいろ考えてくださり、嬉しかった。練習するうちに自信がつき、声が大きくなり、成長を感じた。本番全校生徒の前で歌って緊張したけれど、1組の目標を達成できた。それが私はとても嬉しかった。先輩方の歌を聴きとても感動した。来年、先輩方のように美しい歌声で楽しく歌う合唱コンクールにしようと思う。入賞できなくても、先生の言葉で私は満足だ。認めてもらえて本当に嬉しかった。○合唱コンクール銅賞以上に入ることはできなかったけれど、私の中では金賞以上だ！1学期に曲を決め、2学期合唱練を開始。最初は、私もみんなも自信をもてず声が出なかった。それがだんだんとみんなの心が一つになって、声が揃うようになった。担任の先生が「今までの学級では主に声を出そうと言うことが多かった。でもこの2組はみんなが安心して声を出している。だから自信をもって歌ってきな。」と笑顔で言った。先生の思いに応えられたかわからないけれど、きっと応えられたと思う。この24人で出会えた奇跡を胸に、私たちは「空も飛べた」と思う。合唱コンクール楽しかった！○賞は取れなかったけれど、2組らしく歌えた。今までの練習より本番が一番きれいに歌えた自信がある。「思い切って歌う。気持ちを込める。強弱をつける。楽しむ。」の目標を私なりに達成できた。練習を始めた頃、恥ずかしがり声が小さかったが、練習を積み重ねるにつれ、恥ずかしさより楽しさが勝って息が合いました。合唱コンクールで歌えたのがこの2組でよかった。2組最高！

思春期講座「命について学ぼう」

12月11日(火) 徳島文理大学から森脇智秋先生を迎え思春期講座を開きました。助産師のお話を聞き、生命の大切さと尊さについて理解し、自他の生命を尊重し今を大切に生きていこうとすることを目指しました。



○命の学習をして、改めて自分は大切だと感じた。赤ちゃんは自分で回転しながら生まれてくると聞いたとき、赤ちゃんはすごいと思った。「あなたは生まれて生きているだけで100点だ。」と言ってもらったことも心に残る。私が生まれてきたとき、両親は喜んで泣いてくれたと思う。

<保護者のみなさまへ>

12月8日(日)合唱コンクールに多くの方が参加し、子どもたちが一生懸命歌う姿を見てくださり、本当にありがとうございました。子どもたちはとても嬉しかったと思いますし、学級で団結して自信をもって歌う姿に「感動した。」と言ってくれる方がいたように、子どもたちの成長を頼もしく感じられたのではないかと思います。毎日練習を積み重ね、自信を持って歌いきった1年生を誇らしく思います。

3学期は1月8日(水)から始まります。学力向上とともに2年生になる準備をしていきます。